

Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA



President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 A・シナヴァスカーン (インド)
 "Together for a Better World 「より良い世界のために、共に」
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン(香港)
 "Make a Great Impact" 「大きなインパクトを起こそう」
 西日本区理事 鵜丹谷 剛 (神戸クラブ)
 "Connecting Local to the World with YMCA"
 「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
 六甲部部长 小野勅紘 (西宮クラブ)
 「一人は万人のために、万人は一人のために」
 芦屋クラブ会長 柏原佳子
 「豊かなクラブライフを！」
 「タレントを惜しみなく発揮しましょう！」

今月の聖句

そのときから、イエスは、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言って、宣べ伝え始められた。

<マタイ福音書4章 17 節>

3月第1例会

と き: 2025年3月19日(水) 19:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋

司 会: 濱瀬真知子ワイズ

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 開会点鐘 | 柏原佳子会長 |
| 2. ワイズソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 島田 恒ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 柏原佳子会長 |
| 5. 食前感謝 | 柏原佳子会長 |
| 会食・歓談 | |
| 6. ゲストスピーチ | 山中 勸氏
(伍魚福代表取締役社長) |
| 「神戸で一番面白い会社を目指して」 | |
| 7. 第2例会議事録の承認 | 柏原佳子会長 |
| 各事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 8. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 9. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 10. 誕生日祝い | 柏原佳子会長 |
| 大澤二郎・柏原佳子・濱瀬真知子(各ワイズ) | |
| 11. 閉会点鐘 | 柏原佳子会長 |

- | | |
|----------|-----------|
| 会 長 | 柏原佳子 |
| 直前会長 | 上野恭男 |
| 副 会 長 | 田辺征一・福原吉孝 |
| 書 記 | 上野恭男 |
| 会 計 | 桑野友子 |
| 監 事 | 島田 恒 |
| 担当主事 | 横山徹太郎 |
| 六甲部EMC主査 | 島田 恒 |

3

Mar., 2025
333号

「春を待つ」

会長 柏原佳子



2024年3月4日撮影

3月を迎え春爛漫の・・・と書きたいところ、雨と寒さでウンザリする日々が続きます。冬枯れの草木の手入れもいい加減になり心まで寒くなりそうな中、今朝、ミモザの黄色い花を見つけました。

ビッシリと重く葉の枝がしなる様にとまでは育っていませんが、塀の向こう側に垂れ下がった枝が美しく黄色く染まっていました。今年は、このほか冷たく寒い冬を良く耐えて頑張ったと思います。愛おしさがこみ上げてきました。オリーブの木も檸檬の木もイングリッシュローズの枝々も芽生えています。枯れてしまったジャスミンの枝の切り口が青く、もしかしてもう一度伸びてくるかもしれない希望が生まれ、抜くのは待とうと思いました。昨年暑い夏、なかなか訪れなかった秋、あれだけ和ませ癒やしてくれた花々に「ありがとう！」と感謝しながら肥料を注ぎました。世界中の信じられない嘘のような報道が嫌でも目に映ります。腹を立てても憤ってもむなしだけです。平和な日々を、時間を感謝して大切に生きていこうと思います。

2月例会集計

第1例会出席メンバー	11名	例会出席率	出席者	11名	BF切手 累計 gm
メネット	名	メイクアップ	名		
コメント	名	合計	名		ニコニコ 円
ビジター	2名	在籍者	17名		
ゲスト	12名	(内広義会員1名)			累計 60,668 円
合計	25名	出席率	68.8%		

2月第1例会(留学生交流会)報告

日時: 2025年2月12(水) 18:00~20:00

場所: 芦屋市民センター218号室 (敬称略)

参加者: 柏原会長、上野、桑野、島田、田辺、堤、濱瀬、坂東、福原、船橋(各ワイズ) & 横山担当主事

ビジター: 大野 勉・大野智恵ワイズ(神戸ポートクラブ)

留学生: ミャンマー・中国・日本(オーストラリア出身) 11名

引率スタッフ: 1名 (名前・国名はプリテン2月号参照)

今年も留学生たちに、交流会を通して楽しい時間を過ごしてもらえよう、ご準備いただきました。ミャンマー・中国などの学生たち、計11名が参加となりました。おいしいお弁当や日本のお菓子をいただきながら、ワイズと学生がペアになり、お互いのことを話しました。そして、話したことをもとに、ワイズがペアの留学生を皆に紹介する時間を取りました。さらに他己紹介の後には、歌の時間です。学生たちも大きな声で歌っていました。今年も、神戸ポートクラブの大野ワイズにギター演奏をお願いしました。感謝です。国籍や年齢・立場を越えて交流できることは、とても楽しく、意義があると思います。今年もこのような素敵な会をご準備いただき、ありがとうございました。

横山徹太郎

Kyal Sin Lin Lat さん (ミャンマー)

私は先日、dinner partyに参加した初中級二のチェーサインリンレットと申します。はじめての参加なのでちょっと心配でしたが、みなさんは優しく、みなさんとたくさんのはなしをしました。楽しい時間を過ごしました。お弁当やお菓子など作ってくださって、



ありがとうございます。美味しかったです。来年もみなさんたちと過ごしたいです。なので参加しようと思っています。誠にありがとうございます。またお会いできるのを楽しみにしております。

Ei Kyawt Khine さん (ミャンマー)

家族と離れて海外で一人で生活している私にとってはこのパ

ーティは人生の思い出の一部になりました。寂しい生活から出て、みんなに会って本当に良かったと思います。



暖かい気持ちで歓迎してくれたみんなに心から感謝しています。みんなは有り難い存在になります。また機会があれば、ぜひ参加したいです。

上野 ヘイミッシュ さん (オーストラリア/日本)



交流会の人達は優しく面白かったです。まだ会っていない先輩達とも知り合いました。日本語の会話の練習として特にいい勉強になりました。

良い経験になると思います。もっと長い時で色々なアクティビティがあったら、もっと良いと思います。

留学生交流会の感想

先日、芦屋クラブ恒例の留学生交流会が行われた。毎年楽しい交流会であるが、今年は13名の参加であった。参加メンバー出身国はミャンマーから10名と最も多かった。例年、中国、台湾、韓国等が中心であるが、最近は、その様相は変わり東アジアが増加している。若い留学生が向学心に燃え若者らしい探求心で日本にやってきて、つたない日本語を駆使して将来の希望を実現しようとキラキラした眼で将来の希望を熱く一生懸命に語る姿を見ていると、何とも爽やかで清々しい気持ちになる。



小生の隣には、ミャンマーからやってきた若者であり、自国で日本語を勉強し、将来は、日本でIT関係の仕事に就きたい希望を熱く語ってくれた。ミャンマーでITの資格を習得しており、しっかりした将来ビジョンも持ってる頼もしい若者である。将来、世界旅行をしたい希望があり、英国、フランス、USA等行って

みたいと言っていた。

小生からはアドバイスとしてIT関係を希望するのであれば、USA西海岸のシリコンバレーの見学を推奨した。グーグルやアップルの巨大な施設を見学して、日本、インド、ベトナムなどアジアの人々が働き、IT中心のシリコンバレーをリードする姿を味わうのがとても良い経験になるとアドバイスを送った。そのほかの参加者もワイズメンバーからそれぞれ紹介されていたが、どの若者もしっかりと自分のビジョンと将来設計が出来



ており、個性的で将来の明るい希望を感じた次第である。ただ、ミャンマーは軍事政権下になり決してよくない。この状態の中、国外で勉強して頑張ろうとする姿勢が素晴らしいと感じた。その後、大野ワイズのギター伴奏で

歌い楽しいひと時を過ごし、爽やかな気持ちで帰途についた。

福原吉孝



留学生交流会風景 皆さん楽しそうですね！



井出 浩六甲部直前部長

エルマークロウ賞 受賞祝賀会

神戸クラブ創立95周年

神戸メネットクラブ創立60周年



2月22日(土)御影 ザ・ガーデン・プレイス 蘇州園に於て、記念祝賀会が開催されました。昭和を感じさせるレトロな建物・日本庭園が落ち着いた雰囲気を出しています。

開会の言葉・開会点鐘・ワイズソング・鶴丹谷西日本区理の来賓挨拶、深谷 聡直前理事からお祝いの言葉に続き、記念献金が神戸 YMCAへ捧げられました。

会食はイタリア料理、一品毎に丁寧なお味、特にデザートは逸品でした。続いて、井出ワイズ「活動の軌跡」の映像が映し出され、学生時代からYMCAに関われ、結婚式はこの場所で行われたとの事でした。芦屋クラブからは、柏原会長・上野・桑野・島田・田辺・濱瀬(各ワイズ)の6名が参加しました。



国際メネット会長もされたチャーターメンバー 橋本和子特別メネットより井出 浩&富光子ワイズへ花束と記念品を贈呈



「この賞を受賞できたのは、私一人の力ではなく、六甲部として活動を支えて来られた全てのワイズ・ワイズメネットのおかげです」と感謝の言葉を述べる井出 浩ワイズ

『 聖句 読み説き 』

「悔い改めよ。神の国は近づいた」はイエスの将来ビジョンを見すえた“Power Word”である。これは3章2節で登場する洗礼者ヨハネの宣言と同一である。ヨハネは預言者エリヤの身なりのスタイルを真似ていた。真実の神に立ち返り、新しく生きよ。との宗教改革でもあった。一方のイエスは荒野での誘惑を受けられた後、ヨハネが捕らえられたと聞き、ガリラヤに退かれた。そこは「湖沿いの道、ヨルダン川のかなたの地、異邦人のガリラヤ」であった。イエスとヨハネは宣教協力をしたのだったのだろうか？ イエスが異邦人のガリラヤで宣教を始められたということから、神の救いがユダヤ人だけでなく、全人類に対してのメッセージであったことを聖書は語っている。「悔い改めよ。天の国は近づいた！！」
羽太英樹

2024年2月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター別館 218号室

日時： 2月12日(水) 20:00～21:00 (敬称略)

参加者： 柏原会長、上野、桑野、島田、田辺、堤、濱瀬、坂東、福原、船橋(各ワイズ) & 横山担当主事
第1例会留学生交流会に引き続き、芦屋市民センター218号室にて開催された。

議事・報告

- ◇留学生交流会は、ミャンマーなどの留学生 11 名を YMCA から鐘さんが引率。芦屋クラブ員と留学生と隣り合わせとなり、話しながら弁当を食べた後、横山担当主事の司会でグループごとに報告を開始。最後の交流の部では大野ワイズのギター伴奏で合唱し、和やかに終了した
- ◇西日本区大会には 10 名参加。6 名は前日のゴルフに参加し前夜祭にも参加する。なお、ゴルフ大会の受付を坂東ワイズ、堤ワイズが担当する
- ◇さくら祭りについて、申し込み、当日の諸準備について話合った。車は 1 台のみ許可されないの、桑野車で対応する。当日は 8 時 30 分に現地集合
☆3月26日(水)第2例会で準備詳細を話し合う。
- ◇2025 年度の役員選考については、3 月の第 2 例会で決定する
- ◇島田 EMC 主査より「出版記念講演会」及び「第 2 回 EMC シンポジウム」についての話が有り、準備を進める
- ◇1 月会計報告が桑野会計よりあり承認された
- ◇横山担当主事より YMCA 報告があった

書記 上野恭男

編集後記： ◇「春は名のみ風の寒さよ」2月末季節外れの陽気の後の3月この寒さ。◇1月初めに発生した LA の山火事は1月一杯燃え続け、連日 TV 等で報道、やっと鎮火とホッとしたのもつかの間、今度は大船渡市の山火事、5日恵みの雨で鎮まったか？ 消化活動に当たった皆様に感謝です。自然災害の怖さが身にしみります。報道されない災害が世界のあちこちで発生しているのではと考えてしまいます◇とは言え、ウクライナやガザでの紛争、権力欲に陥った人間の怖さに自然災害以上の理不尽を感じます。◇3月、卒業や就職の季節、若者たちの明るい未来に期待します。 桑野友子

ゲストスピーカー 山中 勸(やまなかかん)氏 プロフィール
株式会社伍魚福(ごぎょふく)代表取締役社長
1966 年神戸生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、1988 年伊藤忠商事入社、法務部門及び繊維部門に勤務。1995 年、阪神大震災を契機に父親の経営する神戸の高級珍味製造卸、伍魚福に入社、2006 年社長就任。伍魚福は、「すばらしくおいしいものを造りお客様に喜ばれる商いをする」を经营理念のトップに掲げ、全国 200 社の協力工場でものづくりをする工場を持たないファブレスメーカー。そのビジネスモデルが評価され、「グッドカンパニー大賞優秀企業賞」(中小企業研究センター)、「関西経営品質賞優秀賞」(関西経営品質協議会)、「おもてなし経営企業選」(経済産業省)、「地域未来牽引企業」(経済産業省)、「日本経営品質賞奨励賞」(経営品質協議会)など表彰・認定を数多く受けている。神戸の春の風物詩、いかなごの「くぎ煮」は同社の登録商標。NHK 大阪「ルソンの壺」、テレビ東京「カンブリア宮殿」など多数の TV 番組に取り上げられている。

YMCA ニュース

ちびっこ雪遊びキャンプ

2月1日(土)～2月2日(日)、ちびっこ雪遊びキャンプがおこなわれ、年中～小学2年生の子どもたちが、思い切り冬の遊びを楽しみました。標高 730mに位置する尼崎市立美方高原自然の家とちのき村では、冬のアクティビティのバリエーション



が豊富です。雪遊びやそり遊びはもちろん、かまくら作りなどの本格的な冬の遊びを楽しむことができます。現地へ向かうバスの中から、子どもたちは歌やゲームで大盛り上がり。無事に到着し、昼食を済ませて、子どもたちは元気に外へ飛び出していました。例年にないほどの積雪量で、白銀の世界が子どもたちを迎えてくれました。

そり遊び、かまくら作りなど、たくさん遊びました。夕食後、夜のゲーム大会はみんなで楽しいひとときを過ごしました。そして2日目。気温は1℃。それでも子どもたちは朝から元気です。部屋の整理整頓、身支度等を、自分できちんとやります。体をこして体を起こし、朝ごはんを食べて雪遊びです。雪合戦、雪だるまづくり、落とし穴、隠れ家作り。あっという間の1泊2日でした。YMCAには、対象年齢が上がるにつれ、泊数の多いキャンプもあります。キャンパーたちがさらにたくさんの挑戦をし、よりよい体験ができるよう、次の一步を踏み出してくれることを願っています。



担当主事 横山徹太郎